

# エーススクールの夏期講習会

- ・秋の全統小中は2学期終了までが範囲。幼保～中2は対策開始
  - ・中3生は復習8割、予習2割
  - ・高3生は共通対策全教科開始
- さあやることいっぱい夏の夏ですよ！

授業日:7/23(金)～24(土)、7/27(火)～31(土)、8/3(火)～5(木) 講習会模試:8/8(日)もしくは自宅受験

講習会模試 【通常版】 小1～中2・・・塾3,000円/自宅2,500円  
 ※中3は全県テスト(7/25)があるため、講習会模試は実施しません  
 【アタックテスト】 小2～小6・・・塾4,500円/自宅4,000円(テスト結果:9月返却)  
 ※中学受験新演習やジュニア新演習に対応した全統小よりも難しいテスト  
 現時点で当学年の勉強が半分以上終わっている方におすすめです

夏期講習会 料金表 (税込)

コマ数	幼保小中	高	コマ数	幼保小中	高
50	31,000	43,500	25	18,500	25,500
49	30,500	42,800	24	18,000	24,700
48	30,000	42,100	23	17,500	23,900
47	29,500	41,400	22	17,000	23,100
46	29,000	40,700	21	16,500	22,300
45	28,500	40,000	20	16,000	21,500
44	28,000	39,300	19	15,500	20,700
43	27,500	38,600	18	15,000	19,900
42	27,000	37,900	17	14,500	19,100
41	26,500	37,200	16	14,000	18,300
40	26,000	36,500	15	13,500	17,500
39	25,500	35,800	14	13,000	17,000
38	25,000	35,100	13	12,500	16,500
37	24,500	34,400	12	12,000	16,000
36	24,000	33,700	11	11,500	15,500
35	23,500	33,000	10	11,000	15,000
34	23,000	32,300	9	10,500	14,500
33	22,500	31,600	8	10,000	14,000
32	22,000	30,900	7	9,500	13,500
31	21,500	30,200	6	9,000	13,000
30	21,000	29,500	5	8,500	12,000
29	20,500	28,700	4	7,000	11,000
28	20,000	27,900	3	6,000	8,500
27	19,500	27,100	2	4,000	6,500
26	19,000	26,300	1	3,000	5,500

夏期講習会の料金は、7月分と8月分とは別料金となります。ご了承のほどお願い申し上げます。

授業日	料金	納入期限
7/1～7/21	7月月謝	7月末
7/23～8/5	夏期講習会	8月末
8/6～8/29	8月月謝	

※講習会を受講しない方は、講習会期間中はお休みとなります。

# 勉強は自分でやらなきゃ意味がない！

【知識や知恵は自ら進んで手に入れるという意識をもつことが大切である】

## 生活編

○健康に過ごす。勉強に集中できる体調を整える。

⇒健康に過ごせていなければ、集中力が落ち、時間数を増やしても勉強ができるようになりません。長期の休みだからと言って、夜更かしや遊びすぎは厳禁です。休憩時間も汗をかくほど遊ばないこと。夏は熱中症、冬は汗冷えが怖い。体調管理も勉強の一部。勉強に集中できるように体調を整えましょう。

○日々記憶するクセをつける。

⇒定期テストの順位、学校の予定など、聞かれたらすぐに答えられますか？また、学校や塾でもらった保護者への手紙を忘れないで当日中に渡していますか？普段から様々な情報を忘れずに記憶・行動することで、記憶力を鍛えることができます。座って問題を解く以外にも脳を鍛えることはできるのです。

○切り替えを早く。

⇒普段からなかなか切り替えができずダラダラとしていることはありませんか？「次は何をしようかな～。う～ん、どうしようかな～。う～ん…」ひとつのことが終わったら、すぐに次のことができる人は時間を無駄にすることないため、結果的に他の人よりも勉強時間が多くなり、それだけ成績が上がります。「今していることが終わったら、次はこれをする！」というふうに切り替えを早くしましょう。

## 勉強編

◎人よりも早く始める。飛び級できるエリートに育てたい。

⇒勉強にフライングはありません。受験を有利に進めるためには、人よりも早く始めることが大切です。早ければ早いほどいいです。幼保小中高一貫では、幼稚園・保育園から大学受験を意識して授業をしています。目標は高校受験ではありません。小さい頃から余裕をもって先取りをしておくことで、受験直前でも「過度な詰め込み」をしなくても済みますし、「燃え尽き症候群」になることもないでしょう。それどころか、このような仕組みであれば、「飛び級」ができる生徒を育てることも可能だと思っています。社会に大きく貢献できるエリートを育てたいと思っています。

◎勉強内容は自分で決める。すべて自分次第。エースクール≡弘高。

⇒勉強する内容は、自分の現在のテストの順位や偏差値、目標、得意不得意など様々な要素をもとに、どのような勉強が必要かを戦略的に考えて決めましょう。そして、決めたら必ず実行する。

またエースクールでは、頑張るも自由、さぼるも自由。すべて自分次第です。この「超自由」な環境は、実は弘高と同じです。エースクールも弘高もやる気のない人に勉強しなさいとは言いません。エースクールの自由な環境の中で成績を伸ばしていける人は弘高でも成績を伸ばしていける人だと思います。

ただし、相談は受け付けますから、悩み事があればいつでも塾長や他の先生まで来てください。

◎勉強量の確保は最優先。自宅と塾での勉強内容にメリハリを。

苦手なものにも、しっかり時間をかける。

⇒成績を伸ばすためには、まず勉強量を確保することが大切です。量が足りていない人は伸びません。塾だけではなく、自宅での勉強時間もしっかり確保すること。ただなんとなく勉強をするのではなく、自宅では得意な教科・分野の宿題、映像授業そして基本問題など負担の少ないもの、塾では不得意な教科の宿題や難問を解くようにするなど、自宅と塾での勉強内容にメリハリをつけるのがいいと思います。

特に、不得意な教科は「やりたくない」という負の感情に負けて、勉強する時間が減ります。勉強時間が減ると、結果が出ずにやる気が起きません。そうならないためにも、まずは無理やりでもいいので「量」を確保するのです。最初は基本問題でいいのでたくさん解き、少しずつ難しくします。不得意な教科にも絶対に楽しいところはあるはず。「何か楽しいところあるかな～」と探してみてください。すでに不得意な教科に時間をかけているのに、なかなか伸びない人は塾長や先生に相談してください。

◎あいまいなまま勉強を進めない。いい質問ができる人は伸びる！

⇒「自分で調べ考える」＝「質問をしてはいけない」ということではありません。わからない問題はわかったふりをせず徹底的に調べ考えること。それでも納得できない・わからないときは質問してください。ただ、たまに何を質問したいのかわからない人がいるので、きちんと頭の中で整理してから来てください。

また、自分で調べるのは面倒で時間がかかるからと、「時短」のために質問する人がいます。そんな質問の仕方だとすぐに忘れてしまい、何度も同じ質問をすることに…結果的に時間を損します。

いい質問ができる人は伸びます。質問は量ではなく、「質」が大切です。

◎「なぜ?」「どうしたらいい?」と疑問をもち納得いくまで考える。

解けた問題の解説も読むことでより深まる。

⇒「これはどういう意味だ?」「なぜ解けなかったのか?次はどうしたら解くことができるのか?」と疑問を持ちながら考えることで思考力が身につきます。調べない、解説を読まない、答えを丸写しするだけではいけません。特に算数や数学の問題を赤ペンで解説を書き写しているだけの人がいますが無意味。算数・数学は、ヒントなしでできるようになるまで何度でもチャレンジしましょう。

「自分で考えると時間がかかる」とか「答えを読むと負けた気がする」と言って、解説を読まずに質問に来る人がいますが、考えるチャンスを放棄することになり、もったいないと思います。ただし、「どうしても自分で考えたい!」という人にはヒントをあげるのでも来てください。また、できた問題でも、解説に自分と違う考え方が載っていたら別解として覚えてしまいましょう。解法をたくさん持つことで、答えられる問題が確実に増えます。

◎「まとめノート」をつくり、記憶に残す工夫をする。記憶を熟成しよう。

⇒記憶に残す工夫をしていますか?何度も間違える問題や覚えられない公式などは、いつでも確認できるように1冊のノートにまとめておくと良いでしょう。暗記カードもOK。他には、「勉強したことをたまに思い出す」というのもおすすめです。難しい問題はなかなか覚えられないものですが、勉強して1時間後、2時間後、翌日の朝、翌日の夕方などちょくちょく問題と解法を思い出すようにすると、記憶が少しずつ熟成されて定着しやすくなります。

◎普段の授業で質問がない人は、もっと攻める。苦手に挑む!

⇒質問がないということは、自分で解決できているということになるので、それはそれでいいと思います。しかし一方では、自分で解決できるくらいの問題しか解いていないと考えることもできます。普段、質問がない人は今よりもっと難しい問題や苦手な分野に果敢に挑みましょう。ただし、そういう問題は1回ではできるようにならないので、「できるまで頑張る!」という意識を持つこと。ここで逃げていては、いつまでたっても成績は上がりません。

◎新しい勉強法を開発してみる。

⇒時間がある長期の休みには、「今の勉強法はちゃんと記憶に残せるか?」と自分の勉強法を見直したり、「苦手なところを楽しく勉強するにはどうしたらいいか?」と新しい勉強法を開発してみたりするといいいと思います。勉強法は学年や教科・分野などを考慮に入れて、定期的に見直しましょう。特に、小中学校で通用していた勉強法が、進度が早く、内容量が増える高校で通用しないというのは良くあることです。

## 精神編

●やる気はいらない。塾を最大限に活用する。

⇒よく「やる気が出ずに、勉強が進みません。」という相談を受けますが、「やる気などいらない。時刻になったら勉強するような仕組みを作れ。」と、どこかの偉い先生が言っていました。自宅では、「比較的短い時間での時間割をつくり、タイマーを鳴らして行動する。」など勉強を習慣化する工夫をしましょう。

また、塾だったら集中できるという人は、オンライン授業も含めてたくさん授業を取りましょう。その分お金はかかりますが、勉強する時間を確保することができます。お金がかかるからと、受講せずにダラダラしてしまうと、時間をムダに失ってしまいます。お金は頑張れば働けば得られますが、時間はいくら頑張っても戻ってきません。ダラダラしてしまう人は最大限、塾を活用して欲しいと思います。

●集中力を鍛え、ゾーンの境地へ。他人の邪魔をしない。

⇒「ゾーン」とは、集中力が極限まで高まって、他の思考や感情、周囲の風景や音などが意識から消えて、感覚が研ぎすまされ、活動に完璧に没頭している特殊な意識状態のこと。簡単に言うと、ものすごく集中できている状態のことです。皆さんは勉強中に、このような状態になったことはありますか?勉強中にゾーンに入ることができれば最高ですよ。ゾーンに入るためには、まずストレッチをして、血流を良くします。次に勉強する内容を決め、それが終わるまでその場から動かなくてもいいように、トイレをすませ、机の上に必要なものだけを置きます。席から動いたらゾーンに入れません。飲み物も飲みません。休憩中にたっぷり遊んで、勉強中にトイレに行く・水をくむなどという人がいますが、もってのほかです。

最初は短くてもいいので、何度も繰り返していくことで長時間のゾーンに入ることができるでしょう。また、集中している友だちに、「今日は何曜日?」「今日学校の先生がさあ~」「ねえねえ、これ見て(笑)」など、どうでもいい話をするのはやめましょう。その会話はいま必要ですか?

●ルールを守る意識をもつ。

⇒「話すときはマスクをする」「ゴミは分別して捨てる」「授業中は静かにする」など実生活上のルールは守られていますか?守れていない人は勉強ができるようにならないでしょう。なぜならば、勉強も「解法」というルールの上に成り立っているからです。普段からルールなんてどうでもいいと考えている人は、勉強のルールも守ることができず、自分勝手な解法で問題を解き、できなかつたら問題がおかしいとケチをつけます。これではいくら勉強してもできるようになりません。勉強と実生活はつながっています。ルールを守ることをしっかり意識してください。

## ●テストのために勉強を頑張るのではなく、勉強法を改善することを目的に勉強する。ちゃんと頑張れたら点数はあとからついてくる。

⇒「テストや受験のために勉強する」というのは悪くありませんが、テストや受験が終わったとたん気が抜けてやる気が起きなくなってしまうかもしれません。そんな人には、「勉強法を改善するために勉強する」という考え方を身につけて欲しいと思います。

自分の勉強法の良くないところ…わかっていると思います。良くないところなんてないというパーフェクトな人はいるのでしょうか。この考え方では、「今日はこういう勉強法を試してみる」と良くないところへの対策をたて実行することを目的とします。「ノートの使い方を変える」「メモを書きながら問題を解く」「勉強前に紅茶を飲む」「解き直しの間隔を短くする」「ペンを少し細いものにする」など、なんでも OK。対策がうまくはまったときには自分をほめてあげましょう。「次は何を変えようか」と楽しくなって、はかどります。

これを勉強だけではなく実生活にもあてはめて毎日続けることで、習慣化(顔を洗うとか歯を磨くなどと同じように生活の一部とする)が可能となります。習慣化できると「テスト期間の1週間は頑張る」とか「高校受験まで頑張る」などと考えることがなくなり、燃え尽き症候群になる可能性が低くなるでしょう。顔を洗うことに燃え尽きた人がいないように。

テストのために勉強していなくても、正しい勉強をすれば結果はきちんとついてきます。

## 授業編

### ◇チャイムが鳴ってから準備しない。トイレは休み時間に済ませる。

⇒最近チャイムが鳴るまで iPad を見ていて、チャイムが鳴ってからようやく準備。開始時刻の数分後により早く勉強を始める人が結構多いです。このような人には iPad 禁止令を出しています。授業が始まる5分前には席に座って、勉強内容を決め、心を落ち着かせて開始を待ちましょう。というか開始時刻前に始めても大丈夫ですよ。

また、授業が始まってからすぐ、あるいは10分後くらいにトイレに行く人がいます。始まる前とか休み時間に行けないのか？と思っています。授業中にトイレに行ってもいいですが、授業が始まって最低50分はもつようにしないと、授業やテストの間も、もたないのでは？少しは我慢も必要です。

### ◇勉強道具をきちんとそろえる。忘れ物は勉強以前の話。

⇒勉強道具を忘れる人が増えています。ふでばこだけではなくコンパス、定規、分度器なども塾専用のものを準備してください。

### ◇授業中は飲み物OK。休憩中は食べ物も OK だが、お上品に。

⇒授業中は飲み物を飲んでも OK です。ただ、人工甘味料や乳化剤、膨張剤？などの添加物が入っているものを飲み食いしてお腹が痛くなってトイレに駆け込む生徒がいるので、なるべく添加物がないものを選びましょう。休み時間は食べ物も OK です。最近、お菓子を食するときの意識が下がってきているように思います。お菓子を食するときは、机の上にティッシュをしいて、座ってお上品に食すること。(夏期講習会では、アメとグミなど歯に挟まらないものに限定します。授業中に食べるのは禁止です。)

### ◇温度管理はまずは自分で

⇒室温は22℃～24℃になるように設定していますが、全員が快適に感じるように設定することは難しいです。暑いときでも寒いときでも、長袖と半袖になれる準備をお願いします。最低限の温度管理は自分で対策できるようにしておくと、入試やテストでもベストの状態です。

### ◇男子へ告ぐ。おしっこは座ってする。トイレはきれいに。

⇒トイレを掃除するのは塾長や先生たち。塾長や先生たちはトイレ掃除のためにいるわけではないので、汚さないように細心の注意を払ってトイレを利用してください。トイレ掃除を1日に何回もしなければいけないと授業の質が下がります。

### ◇塾では細かい確認はしなくても OK。自分で考えて行動する。

⇒次は何をすればいいですか？トイレ行ってきていいですか？ティッシュをもらってもいいですか？鉛筆けずっていいですか？教科を変えてもいいですか？タブレットを借りてもいいですか？その他にも「○○してもいいですか？」と聞く生徒が多いです。エースクールでは細かい確認はしなくても大丈夫です。自分で考えて、行動しましょう。よほどおかしいと思うときには注意しますが…実生活でも確認の少ない子の方が、自分で行動を起こせるので、成長スピードが速い気がします。

### ◇休み時間を有効に使う。

⇒エースクールの休憩時間は最大30分。この30分をうまく使えず、「休み時間がヒマで苦痛を感じる…」という顔をしている生徒がいます。将来、成功する生徒には、一見無駄とも思える時間を楽しい時間に変えてしまう発想力や行動力があります。楽しく有意義に過ごせる工夫をしてみましょう。休み時間をどう楽しく過ごすか、これも思考力を鍛える立派なトレーニングです。いま十分楽しんでいる生徒も、違った楽しみ方を考えてみてください。新しい発見があるかも。自分で自分を楽しい方向へ導けると、自己肯定感が増して、やる気も起きやすくなります。「面倒だ」と考えるのを放棄するか、頑張っって楽しいことを考えるのか、今はほんの小さな差ですが、大人になるころには大きな差となっていることでしょう。